

2/22

革

新

No.109

1969
2-22

全国革新タレント会議
大阪市立大学支部発行

大学当局の闘争圧殺案を粉碎せよ!

「事前合議と再審査請求権」は現状の延長にすぎない!

大学校議会はただちに白紙撤回せよ!

本日(22日)医教員会、校議会、抗議社

全教員は
起て!

医教授会は又も「民主化基
本綱領を放棄しようとしている。

医共斗は 昨夜から、今未明にかけて、医教授会と団交
を行った。大学当局から出された「医学部問題について」
と題する文書を検討する為である。そこで次の事実が明ら
かになった。

事実 確 証 書

二月二日教授会会見で明らかとなった事実問題を
次にあげる。

一、「医学部問題特別委員会」の設置に関しては、医
学部評議員二名と病院長はこれを承認したが、その構
成メンバーに関しては評議員・病院長は全く関知せず、
即ち、その人選は全く学長に委任された。なお医学部
からはそれに参加していない。

一、二月二日の日付で大学協議会から発表された「医学
部問題について」という文書は「医学部問題特別委員
会」により大学協議会に提出され決定されたものであ
る。

一、「医学部問題について」という見解は、その決定前
に、少くとも医学部教員会に於ては発表を検討されて
いない。

二月二日の日付で医学部教授会は於いて報告さ
れ、反対声明を出すことを決定した。

一、「医学部問題について」の大学協議会における決
定は、全学部合意で決定されたものである。医学部を
始めとする二、三の他学部の反対及び修正意見があっ
たが結果に於いてこれを押し通した。

医学部長代理 上田 重郎

ここに示されたものは、オ一に、大学協議会の非民主的
本質であり、オ二に、医学部教授会の無能力である。

医学部代表をへんない「医学部特別委」、教授会へどち
かえる時間もない強行決定、これこそ、大学を腐らせるホ
ス教授の大学経営である。

事態は明らかである。大学協議会・医学部教授会フロツ
クの無責任体制を粉砕せよ。

大学協議会は白紙撤回せよ!

医教授会も、一民主化綱領に敵対する大学当局見